

第374医療群、新型コロナワクチン初回投与を開始 *374th MDG administers initial COVID-19 vaccines*

January 4, 2021

By Staff Sgt. Juan Torres
374th Airlift Wing Public Affairs

(写真1) 12月28日、横田基地で初めて使用されるモデルナの新型コロナウイルスワクチン。認可が下りて以来、国防総省は保健福祉省 (HHS) および疾病予防管理センター (CDC) と連携し、12月9日に発表された国防総省の配布計画に基づいて、管轄区域への初回ワクチン投与量の割り当てを行ってきた。



(写真2) 昨年12月28日、横田基地で使用するためのモデルナの新型コロナウイルスワクチンを準備する第374医療運用中隊下士官主任アレルギー予防接種担当シャキータ・モーゼズ軍曹。

ワクチンの安全性と有効性を実証する厳格な試験を経て、米食品医薬品局は新型コロナウイルスワクチンに対する緊急使用許可を出した。



(写真3) 12月28日、横田基地でモデルナの新型コロナウイルスワクチンの最初の接種を受ける第374医療群司令官アイリス・A・リーダム大佐。

ワクチン接種の開始後も、国防総省の人員は引き続き適切にマスク・ソーシャルディスタンス・手洗い・移動制限の対策を取り、安全の維持に努める。

